



おもいでいっぱい ありがとう

3月16日 伊豆海認定こども園 卒園式

施政方針・大綱質疑

2~4

令和5年度当初予算ほか

6~9

一般質問

12~19

議会の動き

20~23

議会だより、定例会一般質問動画は、西伊豆町ホームページでも御覧になれます。



あなたの声が届く町政へ

令和5年度 西伊豆町長 施政方針（抜粋）

町政運営

町政運営の基本的な考え方としては「あなたの声が届く町政へ」「誰もが住み続けられる町づくり」の考えのもと、町民の声を大切にし、持続可能な地域づくり・地域環境共生圏の視点を取り入れ、行政運営を行ってまいりたいと存じます。

防災・災害対策

5年度は旧消防署跡地に、台風や大雨時などの避難所としても使える兼用施設のタワーを建設予定です。

FMラジオについては、引き続き検討を進めていきたいと思っております。

防災訓練は、新しくできた津波避難タワーや過去に整備された避難路の状況も確認し、整備・改修の必要や、場所の再点検を考えています。

認定こども園

2つの認定こども園は津波浸水想定区域内にあり、災害時に問題が発生しないよう、対策を議論しなければなりません。町から案を出すのは厳しい状況にありますのでワー

クショップなどを行い意見集約した後に事業を推進したいと思っております。意見が集約できず時間だけが経過するという事になると、子どもたちの安全が保障されない時間が長くなりますので、少しでも早く結論が出るようにしていきたいと思っております。

小学校

複式解消や保護者の要望もあり、6年度から田子小と賀茂小が一つになります。通学の問題が出てくるので、細部にも注意し進めたいと思っております。通学に関してはマイクロバスを2台購入し、運行や整備管理などは委託という方法を取ろうと考えています。

仁科小に関しては、土砂災害特別警戒区域の指定を検討されている静岡県とも協議し今後の方針を決定したいと思います。

中学校

現状のまま進みますが、ハード整備ができない分ソフト面での対応を強化したいと思います。また、学校長を交え西伊豆の子供の教育の在り方についても、模索したいと思います。

英語教育

子供たちが生の英語に接する機会の確保に努めると共

に、ある程度日常会話が成立するぐらいまでの教育をすることも必要ではないかと思っております。

また、台湾との交流を再開させ、子どもたちが海外に目を向ける機会を作りたいと思っております。5年度は交流再開の準備を行い、早ければ6年度より相互訪問などが行えればと思っております。

学校給食費助成

5年度から全額助成に変更したいと思います。また、食育・地産地消の観点から、なるべく多くの地域食材を使って、町への愛着などを感じていただければと思っております。

斎場建設

計画作りと並行して地区の振興策などについても話し合いをさせていただきたいと思っております。

また、松崎町とも今後の運営方式や費用負担などを議論していきたいと思っております。

賀茂清掃センター

解体費が予想以上に掛かることが判明したため5年度の予算には計上していませんが、このままにしていけない問題ではないため、今後も有利な補助金や制度を模索しながら早期解体に向けて動いていきたいと思っております。

ゴミの減量化

広域化を進めるにあたり各市町でもごみの減量化を行わなければならないと考えています。コツコツと今まで以上にリサイクル率の向上に向け、取り組んでいきたいと思っています。最終的にはそれらの取り組みが焼却炉の大きさの縮小につながり費用の軽減になると思います。生ごみなどはバクテリア処理・バイオマスなども検討し、自然に返していく取り組みも充実させたいと思っています。

農業

適切な農地管理を促すと共に、耕作したい方が現れた時には、スムーズに農地の貸し借りができるように準備することも必要だと思っています。

林業

山林所有者の皆様と連携をし、適切な山の管理に寄与していきたいと思っています。

漁業

担い手の確保が難しい状況ですので、それ等も含め漁業全般の課題について取り組まなければならないと思います。

今まで6次産業化事業で調査してきたものの実務に取り掛かります。海藻については販路などを確立し、雇用を生み出すまでに成長できればと思います。

メディア戦略

4年度においては、人気ドラマや視聴率の高いバラエティー番組にも使われ、今後につながる活動ができたと思っています。5年度においても、メディア各社が西伊豆町を活用いただけるよう取り組むと共に、ロケ地を訪れる方が増えるような取り組みも継続していきたいと思っています。

商工

改修リフォーム補助、解体補助を引き続き実施したいと思っています。グルメスクラッチ第4弾とサンセットコイン還元事業も継続的にやりたいと考えています。

5年度は通年5%の還元を行ってきたいと思っています。

観光

コロナ以前の状態にはいまだ至っていません。

安全で安心できる旅行先になりえるよう今後も対策を行うと同時に、旅行支援や誘客に対する補助を行い、最低で

もコロナ前までの観光交流客数を回復したいと思っています。

健康増進事業

6年度は介護保険料の見直しが行われる年にあたるため、5年度中に第9期の計画を立てます。

高齢者の健康寿命延伸の取り組みを行い、元気で長生きできる仕組みを作ることで、住民の費用負担を軽減し、体の健幸はお財布の健幸につながることを周知していきたいと思っています。

移動支援

大沢里地区におきましては買い物支援や移動支援を行ってきたところです。町内には他にも支援が必要な地域がありますので、社協と連携しながらささえあえる町づくりも必要と考えます。

高校生の通学補助については、現行制度の補助率を継続させ、保護者の負担を軽減できるようにいたします。



施政方針を述べる町長

大 綱 質 疑

認定こども園

質問 今後の認定こども園はワークショップで意見集約するとのことだが。

町長 町が願う委員会でなく広く住民の意見が聞けるワークショップの形で意見集約をはかりたいと考えています。

質問 今一番危険な区域にある認定こども園に特化したワークショップを開催すべきと考えるが。

町長 浸水想定区域内にある施設の安全性の確保を最優先で議論していただきます。

義務教育環境

質問 松崎町3月定例会で、西伊豆町との学校統合は松崎町から声をかけることはない、と教育長が答弁している。今後のアプローチはどのようなのか。

町長 松崎町と簡単に統合できることはない、と言うことがはっきりしました。話し合う機会は必要だと考えますが、当町の教育は当町としてしっかりやらなくてはなりません。

質問 子育てしやすい町になるようにソフト面の充実に取り組む、と言っているが。

町長 子育てにやさしい環境の充実を5年度中に議論し、6年度に向けて進めていきたいと考えています。

防災・災害対策

質問 地域防災計画の見直しとは。

町長 無理な計画はないかの洗い出しも含めて現実に即したのへに見直しを図りたいと考えています。

財政規模

質問 一般会計予算の総額が72億超と大きい数字だがその要因は。

町長 他の市町ではできないような事業でも、当町では基金から、また、国の予算を活用して新規事業、継続事業を行うことができることです。

サンセットコイン

質問 サンセットコイン10%還元は継続できないか。

町長 財政当局と議論の上で5%還元が妥当と判断しました。

国際交流

質問 台湾との交流の再開を、とあるが。

町長 交流が可能と考えます。

ゴミの減量化

質問 大崎町の視察は「まちづくり課」が担当、生ごみ処理は「産業建設課」が行っているが、どの課がメインになるのか。

町長 「まちづくり課」、「環境課」、「産業建設課」の3課が協力し合って事業を進めています。

メディア戦略

質問 トップダウン型の「ロケさぼ西伊豆」だが、もっと住民に受け入れてもらうような方策をとるなど、充実を図ったらどうか。

町長 今後も引き続き積極的に行いたいと考えています。今年度は会員数や参加人数を増やしたいと考えます。



施政方針に対する質疑

新年度予算7.8%減（一般会計）

収入（歳入）

給料 (町税等)	8億0884万8千円
実家からの仕送り (地方交付税等)	26億2206万0千円
兄弟・姉妹からの援助 (国・県補助金)	9億6898万2千円
副収入 (ふるさと納税等)	10億0000万5千円
貯金取り崩し (繰入金)	12億9029万0千円
バイト代 (その他の収入)	2億8591万5千円
借金 (町債)	2億3790万0千円



一般会計予算を家計簿にたとえて作表しました。

収入合計 72億1400万円

支出（歳出）

生活費 (総務費)	9億5655万6千円
年金・保険料等 (民生費)	9億9249万7千円
薬代・ごみ処理代 (衛生費)	6億3349万7千円
農薬代・養魚飼育餌代 (農林水産業費)	2億0669万6千円
商品購入・旅行代等 (商工費)	9億9715万1千円
家屋修理代 (土木費・災害復旧費)	3億1002万6千円
消火器購入 (消防費)	8億2654万1千円
学費仕送り (教育費)	6億0632万1千円
ローン返済 (公債費)	5億5318万5千円
区・町内会費 (議会費)	5926万9千円
貯金 (諸支出金)	10億6526万1千円
へそくり (予備費)	700万0千円

支出合計 72億1400万円

（特別会計）

会計名	歳入歳出総額	前年度対比	増減(%)
国民健康保険特別会計	12億5700万0千円	△7600万0千円	△5.7
後期高齢者医療特別会計	3億0510万0千円	230万0千円	0.8
介護保険事業特別会計	12億9200万0千円	△600万0千円	△0.5
サンセットコイン事業特別会計	9億7500万0千円	9億7500万0千円	—
水道事業会計	2億7028万5千円	3240万7千円	13.6
温泉事業会計	1億4057万3千円	3273万6千円	30.4

※水道事業会計及び温泉事業会計は、収益的収入と資本的支出の合計額です。

サンセット コイン ポイント 5年度5%

開催期間	3月7日から3月17日まで
審議した案件	町長提出議案 27件 同意 13件 発議 1件
可決した主な議案	令和5年度一般会計予算 ほか6つの特別会計予算 一般会計補正予算(第6号)(第7号) ほか3つの特別会計補正予算 損害賠償額の決定3件 学校設置条例の一部改正ほか条例改正等7件 規約変更1件 教育長の任命ほか同意13件 契約変更2件 発議1件

こんなことが、決まりました。

一般会計予算 (賛成4：反対4)

5年度の予算総額は72億1400万円で前年度より6億1300万円の減です。大規模な道路、橋梁工事が完工したこと、およびサンセットコイン事業が特別会計に移行したことが主な減額要因です。

自主財源は33億8508万8千円、依存財源は38億2894万2千円で、自主財源は前年度より4億4551万8千円の減少です。

ふるさと応援寄附金とふるさと応援基金繰入金の合計額は、前年度とほぼ同額21億6141万7千円を見込んでおり、自主財源の64%を占めています。

賛成と反対の数が同数でしたので議長裁決により、可決されました。

自主運行バス事業補助金 2822万円

問 今後の自主運行バス事業の考えは。

答 何とか乗車率を上げて、維持していきたいと考えてます。

南伊豆地域広域ごみ処理事業負担金 292万3千円

問 広域ごみ処理施設は丁寧な説明をする必要があるのでは。

答 広域ごみ処理だけの説明会では、どの程度の方がお越しいただけるかわからないので、町政懇談会にお話

しさせていただければと考えます。

反対討論 新年度予算に津波避難施設建設工事が含まれており、津波の到達するところに、避難施設を建築するのは反対。避難施設は、津波の来ないところに建設すべきで、プロのスポーツチーム合宿を呼べるような体育館を建設し、災害時の一時避難は、そこを利用すべきと考え反対。

賛成討論 年々発生確率の高まっている南海トラフ巨大地震などに備えるための防災減災、及び万一発生した場合、町民の生命を守るといふ、当然の事業であると考え賛成。

還元が決定

- ◎5年度は5%のポイント還元を実施。
- ◎財源は、個人のチャージ料とふるさと応援寄附金、国庫補助金、過疎対策事業債。
- ◎サンセットコイン事業会計は特別会計に移行。

国民健康保険特別会計予算 (全員賛成)

予算総額は12億5700万円で、前年度比7600万円の減額です。主な減額は県交付金・一般の保険税などです。被保険者数は2065人で156人減りました。

5年2月末の国民健康保険事業基金残高は約3億8102万円です。

問 保険税の県下統一は。

答 当町は資産割廃止など県内統一に動いていますが、各市町の保険税の格差が余りにも大きく、具体的な話にはなっていません。

介護保険事業特別会計予算 (全員賛成)

予算総額は12億9200万円で、前年度比600万円の減額です。被保険者数の減少などによるものです。

介護認定者数は、要支援者100人、要介護者484人で、前年同時期と比べ合計で34人の減となっています。

5年2月末の介護給付費準備金の残高は約2億1362万円です。

問 施設介護サービス給付費の増額理由は。

答 町外の介護医療院の利用者と入所者の増加を見込んでいます。

水道事業会計予算 (全員賛成)

収益的収支（経営に伴う収支）は収入が2億1047万4千円、支出が2億378万6千円です。資本的収支（施設整備に伴う収支）は収入2千円、支出5981万1千円で不足額は内部留保資金などで補填します。

問 水道委員会のメンバーは。

答 各地区5カ所の区長、女性会、消費生活研究会、商工会、観光協会、旅館組合、中小企業診断士の皆さんなどで、3回の会議を予定しています。

後期高齢者医療特別会計予算 (全員賛成)

予算総額は3億510万円で、前年度比230万円の増額です。

要因は被保険者数及び所得額の増加を見込んだものです。

加入者数は2169人で前年同時期と比べ55人の増加です。

問 3年、5年先の高齢者人口の見通しは。

答 6年程前から高齢者人口は減少傾向ですが、後期高齢者医療に限っては、微増と予想されます。

サンセットコイン事業 特別会計予算

(全員賛成)

予算総額は9億7500万円で、歳入はチャージ料8億5169万円などです。

問 一般会計から特別会計に移行した理由は。

答 事業の決算額が10億円を超え、利用者の数も伸びているため、特別会計にした方が明確な数値を掴めると判断しました。

温泉事業会計予算 (全員賛成)

収益的収支（経営に伴う収支）は収入が9506万2千円、支出が8789万1千円です。資本的収支（施設整備に伴う収支）は収入2千円、支出は4551万1千円で不足額は内部留保資金などで補填します。

問 浮島温泉の建屋解体修繕とは。

答 電源倉庫の解体取壊し・ブロック塀の撤去です。

令和6年度に 田子小と賀茂小の統合が決定

学校設置条例の一部を改正する条例案について
(賛成9：反対1)

田子小学校と賀茂小学校の統合に備え学校設置条例から田子小学校を削除します。施行は令和6年4月1日です。

反対討論 2校先行統合は、文教施設完成という前提があった、それが白紙に戻った以上、3校統合を検討し直す必要あると考えるので反対。

契約の解除に伴う損害賠償の額の決定について
(全員賛成)

文教施設整備計画の中止に伴い、5年1月30日付けで契約解除した令和3年度小中一貫校（仮称）及び屋内運動場設計委託（債務負担）契約の解除に伴う損害賠償。

西伊豆町が事業者に3267万円賠償します。

中小企業及び小規模企業振興基本条例の制定について
(賛成8：反対1)

町の責務及び中小企業等と中小企業等支援機関の役割を明確にして、中小企業・小規

模事業者の支援を計画的に行うことを目的とした条例制定です。

反対討論 町としてしっかり考えていただきたいが、そこが不足しているように見受けられるので反対。

賛成討論 当町の事業所はほぼ小規模事業者であり資金繰り大変である。支援がなければ、難しい部分があり今後も支援を必要としているので賛成。

一般職の任期付職員の採用に関する条例の制定について
(全員賛成)

5年4月1日から任期付職員、地域防災マネージャー1名を2年間の期限付で採用するための条例制定です。

問 2年後、防災専門官を採

用、育成していくのか。

答 今は防災監を防災課長が兼務していますが、後任が必要であれば、関係機関と相談しながら、強化できる体制をとって行きたいと思っています。

国民健康保険条例の一部を改正する条例案について
(全員賛成)

国民健康保険法施行令等の一部が改正され、出産育児一時金が全国一律で42万円から50万円に引き上げられることに伴い、町の条例を改正します。

この条例は令和5年4月1日より施行します。



令和6年度に廃校になる田子小学校

一般会計補正予算 (第6号)

(全員賛成)

事業完了に伴う精算などにより、歳入、歳出総額からそれぞれ2億6458万6千円を減額し、それぞれの金額を、99億3300万円としたいものです。

問 新型コロナのワクチン接種の今後の考え方は。

答 国の方針を待って、国からお金が出るなら予算計上しますが、町の単独、単費で新型コロナウイルスワクチン接種ということは、考えていません。

問 生活習慣病対策費の委託料が、約300万円の減額だがなぜか。

答 検診関係の当初予算は、前年度実績見込みで予算計上しましたが、申込件数が少なかった結果、減額となりました。

問 農業振興費の農業生産資材高騰対策支援金が当初予算は500万だが200万円の減額になっているがなぜか。

答 県も同様な支援金を出しており、対策が重複しないようにした結果、300万円の執行見込みとなり減額しました。

問 高校生給付型奨学金が144万円減額になっているが、どういう理由か。

答 今年度の新規の給付対象者を5名と見込んでいましたが、対象者は0でした。また、今まで給付を受けて

いた生徒の内2名が受けられない状況になりまして、それらの結果により144万円を減額しました。

農業委員会委員の任命

土屋浩二氏 (仁科在住) の農業委員会委員の任命に同意しました。任期は令和5年5月16日～令和8年5月15日。(以下説明同文)

(全員賛成) 再任

磯 清彦氏 (田子在住)

同上。(全員賛成) 再任

佐野 登氏 (仁科在住)

同上。(全員賛成) 再任

藤井 恵氏 (安良里在住)

同上。(全員賛成) 再任

上松 茂樹氏 (宇久須在住)

同上。(全員賛成) 再任

須田 美光氏 (中在住)

同上。(全員賛成) 再任

松田 貴宏氏 (宇久須在住)

同上。(全員賛成) 再任

土屋 秀作氏 (大沢里在住)

同上。(全員賛成) 再任

服部 信一氏 (宇久須在住)

同上。(全員賛成) 再任

佐々木 律夫氏 (仁科在住)

同上。(全員賛成) 新任

以上10名の任命に同意しました。

教育委員の任命

(全員賛成)

任期満了に伴い、**眞野有吏^{ゆうり}氏**の任命(再任)に同意しました。

任期は、令和5年5月16日～令和9年5月15日です。



眞野 有吏氏 (田子在住)

教育長の任命

(賛成7：反対1)

任期満了に伴い、鈴木秀輝氏の任命(再任)に同意しました。

任期は、令和5年4月28日～令和8年4月27日です。



鈴木 秀輝氏 (一色在住)

問 一期で退く方が多いが、なぜ再任か。

答 文教施設建設に尽力し文教問題を良く理解しているのをお願いしました。

反対討論 今までの功績は認めるが、学校建設で求められる資質は異なる。それについては疑問があり、適任者とは思われないので反対。

議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	松田貴宏	浅賀元希	仲田慶枝	堤 豊	芹澤 孝	高橋敬治	山田厚司	西島繁樹	堤 和夫	増山 勇	議決結果
3 月 定 例 会	令和3年度 西伊豆町立西伊豆小中一貫校(仮称)及び屋内運動場設計業務委託(債務負担)契約の解除に伴う損害賠償の額の決定 [3267万円の損害賠償額を決定するもの]	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	令和4年度繰越 文教施設整備事業に伴う青地除外申請書類作成業務委託契約の解除に伴う損害賠償の額の決定 [1万980円の損害賠償額を決定するもの]	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	令和4年度繰越 文教施設整備事業敷地造成計画基本設計業務委託契約の解除に伴う損害賠償の額の決定 [2万2千円の損害賠償額を決定するもの]	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	個人情報の保護に関する法律施行条例の制定 [法改正に伴い施行条例を制定するもの]	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	一般職の任期付職員の採用に関する条例の制定 [任期付き職員を採用するためのもの]	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	中小企業及び小規模企業振興基本条例の制定 [地元中小企業等の発展・振興のために条例を制定するもの]	×	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	国民健康保険税条例の一部を改正 [課税限度額の一部引上げ及び低所得者に対する保険税軽減措置を拡充するもの]	×	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	町立学校設置条例の一部を改正 [賀茂小学校と田子小学校を統合するもの]	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決 ※1
	国民健康保険条例の一部を改正 [出産育児一時金を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	情報公開条例の一部を改正 [個人情報保護条例の廃止に伴い改正するもの]	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	職員の高齢者部分休業に関する条例の一部を改正 [題名に「西伊豆町」を加えるもの]	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	静岡地方税滞納整理機構規約の一部を変更 [機構の事務所を藤枝市に移転するもの]	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	令和4年度西伊豆町一般会計補正予算(第6号) [2億6458万円を減額するもの]	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	令和4年度西伊豆町一般会計補正予算(第7号) [光ケーブル断線箇所補修のめた300万円を増額するもの](追加議案)	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	国民健康保険特別会計補正予算(第3号) [785万円を減額するもの]	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) [2500万円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決	

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	松田貴宏	浅賀元希	仲田慶枝	堤豊	芹澤孝	高橋敬治	山田厚司	西島繁樹	堤和夫	増山勇	議決結果
3 月 定 例 会	介護保険事業特別会計補正予算(第3号) [6320万円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	静岡市町総合事務組合理約の一部を変更 [加入団体を一部削除するもの]	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	令和5年度 一般会計予算 [当初予算]	○	欠	○	×	×	○	○	○	×	×	可決 ※2
	令和5年度 国民健康保険特別会計予算 [当初予算]	○	欠	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	令和5年度 後期高齢者医療特別会計予算 [当初予算]	○	欠	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	令和5年度 介護保険事業特別会計予算 [当初予算]	○	欠	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	令和5年度 サンセットコイン事業特別会計予算 [当初予算]	○	欠	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	令和5年度 水道事業会計予算 [当初予算]	○	欠	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	令和5年度 温泉事業会計予算 [当初予算]	○	欠	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	教育委員会教育長の任命 [教育長を任命するもの]	×	欠	○	○	○	○	—	○	○	○	同意
	教育委員会委員の任命 [教育委員を任命するもの]	○	欠	○	○	○	○	—	○	○	○	同意
	農業委員会の委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合 [委員の認定農業者等の割合を変更するもの]	○	欠	○	○	○	○	—	○	○	○	同意
	農業委員会委員の任命(10名) [農業委員を任命するもの]	○	欠	○	○	○	○	—	○	○	○	同意 ※3
	令和4年度道路メンテナンス国庫補助事業岩谷戸橋長寿命化対策工事変更請負契約の締結 [契約額を191万4千円増額するもの]	○	欠	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
	令和4年度道路メンテナンス国庫補助事業宇久須隧道長寿命化対策工事変更請負契約の締結 [契約額を271万7千円増額するもの]	○	欠	○	○	○	○	—	○	○	○	可決
議会の個人情報の保護に関する条例の制定 [議会の個人情報保護条例を制定するもの]	○	欠	○	○	○	○	—	○	○	○	可決	

議長(山田厚司)は採決に加わりません。

※1 学校設置条例の改正は特別多数議決を必要とする議案で、議長も表決に加わり出席議員の3分の2以上の同意で可決されました。

※2 令和5年度一般会計予算は、可否同数のため議長採決により可決されました。

※3 松田議員は「農業委員会委員」の候補者であるため、本人の議決の時は退席しました。



まつだ たかひろ
松田貴宏 議員

「農地を借りられない」は誤りでは (町長) 交流してからでないといけない

質問 9月定例会で、町長から「地域おこし協力隊は西伊豆町に来てから、そもそも農地を借りることはできません」という答弁があった。しかし、農業経営基盤強化促進法に基づく利用権の設定という形で、農地を借りることができるので、借りることができないというのは誤りではないか。

町長 西伊豆町に住んでいない方の案件であり、また他で農業を今までやられていない方の案件を農業委員会でご審議いただくのがどうなのか。また、得体のしれない方に土地を貸してくれる方がいるのかということもあります。そうしますとやはり西伊豆町に来て、ある程度地域の方とも交流してからではないと難しいのではないかと考えます。

損失補償とは

適法行為に基づく

質問 合の浦の民家への落石

事故の概要は。

町長 町が管理する町道用地から落石があり、個人住宅を損傷させたものです。

質問 損害賠償と損失補償について、町はどのように使い分けているか。

町長 損害賠償は、違法な行為により、他人の権利を侵害して損害を与えた場合に、その損害を補填するために支払うもの。損失補償は、適法な活動により生ずる損失を補填するもので、この適法行為に基づく財産権の侵害に対する補償である点で、不法行為に基づく損害

賠償と区別をしています。

質問 用地の管理に過失はなかったのか。

総務課長 過失はなく、適法な行為の中での落石と判断しました。

附属機関の見直しは

指針案を検討

質問 町の附属機関の見直しと条例制定は。

町長 基準となる指針案を作成し、検討していきたいです。

総務課長 条例は文教施設関係の委員会の物を早々に作りたいです。



適法な事故？

文教施設整備事業の進め方は (町長) ワークショップを開催



あさかもと き 議員
浅賀元希

質問 町の大きな事業については、住民に意見を聞いて進めるべきだと思うが今後の文教施設整備事業の進め方に対する考えは。

町長 公募を含め30人程度のワークショップを開催し、意見をまとめていきます。

質問 事業の白紙状態でワークショップを開催するのではなく、まずは町から課題を投げかけパブリックコメントを募集したらいかがか。

町長 パブリックコメントには、町の方向性の提示が必要になります。しかし提示は、できないのでワークショップで現状を伝え、今の白紙の状態でザックバラに話をしてもらいます。

質問 青地除外について1月の懇談会でも、問題ないと考えていたと思うが、その後無理だとの考えに至った理由は。

町長 青地除外5項目は、クリアできると考えますが、異議申し立てについて県が受ける可能性があるので、

そこが引っかかってしまうというニュアンスを受け、その押し問答を繰り返すことで、事業が進まなくなると考えたためです。

認定こども園の安全は

優先的に議論を

質問 一時中止することで認定こども園児の安全対策が、遅れることになる。当初計画では、8年開園とのことだったので、それまでには、実施するべきだと思うが、安全対策の考え方は。

町長 速やかに改善しなければ

ならないと考えておりますので、今後開催するワークショップで、小さな子の安全対策について優先的にご議論をしていただきたいと考えます。

質問 ワークショップで、進めていきたいとのことだが、早く進めないと不安が募ると思うので、スピードアップしてやっていただきたいと思うがいかがか。

町長 同一地区とか同一敷地とか、そういうのは取り払ってまずどうすれば、安全になるかということを最優先に考えていきたいです。



早く対策をしなければならぬ認定こども園の状況



たか はし けい じ
高橋敬治 議員

学校トイレの洋式・乾式化は (町長) できるところから早くやりたい

質問 新たな学校建設が中止となったが、継続使用する既存施設の改修予定は。

町長 5年度に賀茂小は校舎の防水とプールの改修、仁科小は校舎西側の一部を防水、西伊豆中は普通教室の照明LED化などの工事を予定しています。

質問 保護者から通学バスに関する要望が多いが。

町長 登下校の時間調整やバス停の整備など、今後学校やバス会社と調整を図り、できることから改善していきたいと考えます。

質問 学校トイレの洋式化と乾式化を進めてほしいが。

町長 洋式化、乾式化については西伊豆中や小学校はずっと使うという考え方で、できるところからなるべく早くやりたいと考えます。

質問 西伊豆中は避難所にもなる施設なので体育館も含め、バリアフリーと多目的トイレ設置は。

教育委員会事務局長 それも含めて検討いたします。

西伊豆中の不登校生徒は

各学年3人で9人です

質問 西伊豆中の不登校生徒の実態は。

町長 各学年3人で9人です。そのうち5人は適応指導教室に通っています。

質問 教室はなぜ午前だけか。

教育委員会事務局長 開設当初の想定数と指導員で進めています。現在は子どもの数も増えてきているので、開設の時間や指導員数などを検討し、適切な指導環境を整えたいです。

会計年度任用職員勤勉手当

支給を行うことになる

質問 国は早ければ6年度から会計年度任用職員にも勤勉手当が支給できるように法と通知を改めるとのことだが町の考え方は。

町長 当町も勤勉手当の支給を行うことになると考えています。

質問 環境課作業員は3年間で約70万円の大幅な減収だが何とか救済できないか。

町長 制度運用上難しく、見直しも今は考えていません。



急がれる学校トイレの洋式化・乾式化

逃げなくて良い場所への早期移転は (町長) ワークショップで検討していきます



せり ざわ 孝 議員

質問 認定こども園の安全な場所へ統合移転は、小中学校の建設計画及びその他の不具合な事柄に引きずられ、議会の意見書提出から9年経ったが実現しなかった。いつ来るか分からない津波から子ども達を守るには、逃げる必要のない場所へ可^か急^{きゅう}的^{てき}速^すやかに、認定こども園の統合移転を進めなければならない。認定こども園の統合移転は小中学校統合移転問題とは切り離し、立地上の利便性を犠牲にして津波に対する安全性に特化して考えなければ早期の実現はできないのではないか。

町長 今後の認定こども園の進め方については※ワークショップなどを行い、広く意見を募った中で、案をまとめていきたいと考えています。【※地域にかかわるさまざまな立場の人々が自ら参加して、地域社会の課題を解決するための改善計画を立てたり、進めていく共同作業とその総称。】

出産祝い金が少ないのでは

トータルでは他町より多く行っています

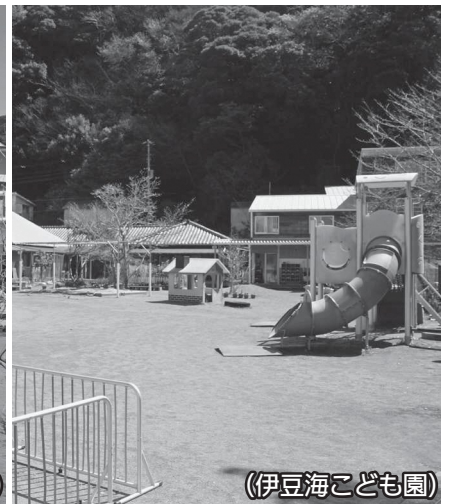
質問 当町の出産祝い金は一律3万円だが、賀茂4町では、人口減少、少子化対策などとして、「南伊豆町第一子15万円・第二子20万円・第三子以降25万円、松崎町一人に10万円・第三子以降20万円、東伊豆町第一子5万円・第二子10万円・第三子20万円・第四子以降30万円、河津町1回につき10万円・多胎の場合一人につき5万円加算」と大変拡充

されている。この大きな差を解消しようとせず看過しているのは、子育て世代への裏切りではないか。

町長 確かに当町の3万円というのは安いのかもかもしれませんが、すすく医療費の助成・認定こども園保育料無料・給付型の奨学金・高校生の通学助成・来年度から完全給食費無料などの西伊豆町独自の子育て政策を、他町ではされていないことのほうが多分多いので、トータルでは西伊豆町のほうが子育てしやすい環境であると考えています。



（仁科こども園）



（伊豆海こども園）

逃げる必要のない場所に可急的速やか統合移転すべき



なか だ よし え
仲 田 慶 枝 議員

避難行動要支援者対策は (町長) 風水害対応協議会を再開

質問 災害時における避難行動要支援者への対策は。

町長 コロナ禍で中断の「健康福祉課」、「防災課」、介護施設関係者による風水害対応協議会を再開させます。

質問 3年5月改正の災害対策基本法で個別避難計画作成を努力義務としているが、

健康福祉課長 福祉係では個別計画を、介護保険係では台風時における避難行動要支援者の避難方法調査票をそれぞれ作成しています。

質問 「防災課」や社会福祉協議会と共有すべきだが、

健康福祉課長 5年度から役場内公開予定の統合型GISに個別計画の情報を載せたいと考えています。

質問 個別避難計画は、豪雨や土砂災害の頻発を受けて新設されたものだが、地震津波災害発生への恐れがある当町で実効性があるのか。

健康福祉課長 災害の種類や規模によっては避難行動が一つには限りません。統合型GISには津波避難区域、土

砂災害警戒区域、浸水想定区域などの情報が入ります。それぞれの災害にあわせた活用方法を想定し、台帳も検討できると考えています。

質問 防災訓練には取り入れないのか。

防災課長 デイサービスの事業所と連携して避難訓練を実施したいと考えます。

質問 共助力の向上にむけてのその他の対策は。

防災課長 社会福祉協議会による研修を引き続き進め、連携強化したいです。

町長 災害発生時、地区ではどうするのか、町民の方に

よるグループ学習なども必要と考えます。

自治会の負担軽減は

会議の統合などを検討

質問 自治会では担い手不足が深刻だが、持続可能にするためにやっていることは。

町長 産業建設課作業員を5名に増員しました。回覧や各戸配布にはメール配信サービスを行い、業務改善につなげたいと考えます。

質問 自治会の負担軽減は。

総務課長 会議の集約や統合などを検討します。



要支援者役が参加した防災訓練

建設計画の違うアプローチとは (町長) ワークショップなどで幅広い意見



つみ
堤

ゆたか
豊 議員

質問 町では、1月27日に、9年度以降の早期開校を目指してきた認定こども園と小中一貫校の建設計画を「中止」すると明らかにした。再編案や建設地について約8年にわたり議論されてきた最終案が白紙となり、大幅な計画の見直しが迫られると新聞発表があった。

計画中止説明会においての違うアプローチとは、どのような考えか。また、住民の皆様から意見を募るとは、どのようなことか。

町長 今後は、ワークショップなどを行い、今までよりも幅広い意見を吸い上げた上で、方向性を決めていく必要があると考えています。

質問 ハード整備ができなかった分、ソフト事業を充実させていくとしているが仁科認定こども園に津波避難タワー建設など、防災対策のためのハード整備はできないか。

町長 タワー建設に関しましても賛否がありますので、

ワークショップなどで意見集約をした結果、整備をすることが望ましいということであれば考えていきたいです。

青地除外の根拠は

多数の地権者の同意があった

質問 先川集約案は、青地からの除外及び農地転用は極めて難しい状況であると言われていたが、町が青地除外できると考えた理由、根拠はどのようなものだったのか。

町長 県から示されている津

波浸水想定区域外、かつ、土砂災害警戒区域外の場所で、仁科地区の約2万平方メートル以上の土地を確保できる場所は、先川候補地しか見当たらなかったこと、この場所においては、30パーセントは耕作放棄地の状況であり、かつ、建築候補地の地権者については、大方、同意をいただいていたので、周辺耕作者へは、丁寧な説明をして、ご理解をいただきたいと考えていたところです。



建設中止になった先川建設予定地



つみ 堤 かず お 和 夫 議員

文教施設整備事業の進め方の反省は

(町長) 問題はなかった

質問 今まで、中央公民館で1度きりの住民説明会開催で、文教施設整備事業を進めようとした当局の思慮に欠ける行動が、今回の事業中止という結果になった。私は何度も町長に、各地区で町政懇談会を開くよう訴えてきたが、聞き入れられなかった。町政懇談会を開き丁寧な説明を行えば、こんなことにはならなかったと考えるが、町長の反省は。

町長 今までの文教施設整備事業の進め方については、平成26年度以降に開催された複数回の文教施設等整備委員会での議論を踏まえて進められており、進め方には問題はなかったと考えております。

質問 事業中止により、当然契約している会社との間に、損害賠償の問題が想定されるが、当町にとっての損害賠償額はどのくらいなのか。

町長 今議会に上程していません、3270万2980円です。

質問 町長が町に損害賠償を

支払わせた責任をどのように取るのか。

町長 今までかかった必要経費なので、質問の責任には当たらないと考えます。

鷹ノ巣の閉山は

協議中

質問 鷹ノ巣残土処理場は、現在、盛土が熱海の土砂崩落から注目の的となっている。早く閉山までの計画を示していただきたいが。

町長 閉山の計画につきましては、県からの要望もあり現在、関係各位と協議をし

ています。

質問 下から2段は転圧し整形してあるが、側面の補修(緑化)や側溝整備が不十分である。整形が完了した下2段は、いつになるかわからない閉山を待っていないで、緑化や側溝整備をやるべきだと考えるが町長の考えは。

町長 6段目までの法面補修、側溝修繕、種子吹き付けを行うよう指示しました。なお、指示どおりできているか町が検査を行い、その結果を、一色区長及び一色町内会に報告する予定です。



雨で土が流れ出さないよう種子の吹き付けを！

斎場建設の覚書は

(町長) 松崎町と2月20日に



ます やま いさむ
増山 勇 議員

質問 5年度予算にある斎場建設予定地の状況調査業務とは何か。

町長 昨年9月29日に開催された田子地区の説明会において、「豪雨による災害の発生が懸念されるが、町は対策を検討しているか」との意見がありました。

これにより、現地の盛土崩壊及びクリーンセンター横を流れる沢からの土石流出について、その可能性と今後の対策について調査するものです。

質問 松崎町と協議の進捗状況は。

町長 1月13日に西伊豆町と松崎町の首長会議を開催し、施設を共同設置することや、一部事務組合を設立して整備・運営をすること、また、事業負担を均等割20%、人口割80%の割合とすることなどを確認したところです。

質問 両町と覚書はいつ取り交わしたのか。今後の予定は。

町長 新斎場整備事業に関す

る覚書として、2月20日に取り交わしております。

今後は斎場整備事業基本計画の策定業務を発注する予定であり、これについては松崎町と協議を進めていきます。

田子地区の要望は話し合いを進める

質問 田子地区の要望はどのように把握しているのか。

町長 町からの提案ということではなく、田子地区のご意見をお聞きして地域振興も含めて行っていきます。



速やかな斎場建設を望む

認定こども園の防災対策は

ワークショップで検討

質問 文教施設整備事業の中止により、今後の認定こども園の災害対策をどのように考えているのか。

町長 色々な対策が考えられますが、まずはワークショップを行い、意見を取りまとめたいと考えます。

議会の動き

第 1 常任委員会報告

1月18日に健康福祉課の所管事務調査を実施しました。

健康福祉課

介護保険事業

介護保険事業費用

施設入所者費用は年間1人当たりおおよそ300万円を要し事業費の約37%、訪問介護などの居宅介護の費用は35%と二つで予算の7割強を占めるなど人的直接サービスを手厚くしていますが、全体の事業費は年々減少傾向にあり余裕のある運営がなされています。

事業費の減少傾向の要因の一つは要介護認定者の減少ですが、窓口で介護認定申請を制限しているとの声があり、事実関係の確認を求めました。

介護保険料

介護保険料を左右する介護保険事業は3年単位で計画を立て実施しますので、よほどのことがない限り、3年間保険料は変わりません。

次は令和6年4月1日より、新計画（第9期介護保険事業計画）をスタートさせますが、それまでに保険料を含む課題について検討します。現在までのところ介護保険事業は大変安定していることから、担当当局は保険料の減額を視野に入れていきます。

要支援者の支援計画

高齢者・障害者・妊婦・乳幼児とうで発災前に自力で避難困難な方のために西伊豆町避難行動要支援者避難支援計画を令和2年3月に作りました。

内容は要配慮者の名簿を策定し、それを元にかに避難支援をするかですが、中でも本人の同意を得てつくる個人別の避難計画の作成が重要です。

4年1月現在、要支援者341人の内個別計画作成者180人。

防災のために個別計画の作成が急がれます。

不妊治療

国は令和4年4月より不妊治療を各種保険で行えるようにしました。これは少子化対策のため、全面的な費用負担とはなりません。これにより多くの対象者の方が治療費の負担が軽くなります。（保険は1子ごと40歳未満6回まで、40歳以上43歳未満3回まで治療可能）

これまでに町も独自の不妊治療の補助を保険適用以前より行い多くの対象者の方が補助制度を利用しています。

過去10年間⇒22組利用⇒11人妊娠

一組平均利用回数 4.1回

大変な実績を残していますが、町は今回の国の保険適用を受け補助の方法を変更しました。

変更前 不妊治療者を補助 補助回数⇒10回

変更後 不妊治療に保険を使わない人を補助 補助回数⇒4回

この結果、補助対象者と補助回数が制限されました。賀茂郡下1市4町では治療対象者に制限を加えているところはありません。町は不妊治療の保険利用は補助に相当するとして、町の補助はしないとしましたが変更前は県の補助と町の補助が受けられました。

国は不妊治療を保険適用とする根拠が薄く優遇しすぎとの批判を呑み込んで、少子化が非常事態として窮余の一策として行うものです。このことに当局は保険で補助をされる、不足分は受益者負担すべきで、保険を使う時は町の補助はしないとの考えですが、対象者は納得するのでしょうか。

今後補助制度の改善を求めています。

教育委員会事務局

2月14日教育委員会事務局の所管事務調査を実施しました。

文教施設建設中止後の事業

文教施設建設中止により次の6事業はどうなるのか説明をうけました。(西伊豆中学校体育館トイレ改修・賀茂小学校雨水対策とグラウンド排水対策・仁科小学校雨漏り対策と裏山土砂災害対策・伊豆海認定こども園津波避難対策・仁科こども園津波避難対策・田子給食センター改修)

各事業について説明を受け質疑をしましたが伊豆海認定こども園・仁科認定こども園の津波対策に質疑は集中しました。

各事業について教育委員会事務局の回答はおおよそ、今後町長部局と話を詰めていきたいに止まりました。

給付型奨学金

松崎高校存続を目的として松崎高校生の成績優秀者に返還無用の奨学金を支給しています。

平成30年～令和4年の支給状況

延べ人数33人 支給総額5,340,000円

3年間奨学金受けた者の進路は大学4人、専門学校1人です。高校1年で支給対象外となる例が多い。芸術、スポーツ分野での支給は、中学校での判断基準の設定が難しく実施していません。

教育委員会

教育委員会のあり方について教育委員会事務局より説明をうけました。

全国的に教育委員会は教育委員会事務局に追認しているだけで適時迅速な意思決定ができないとの指摘があることについては、教育委員会定例会後などに提案・意見交換の場を設け改善を計っていると教育委員会事務局の説明がありました。

西伊豆中学校

2月14日9時から10時30分にかけて、校舎内を視察し、校長と教頭より学校運営の状況と課題についてフリートーキングにて説明を受けました。

校長裁量事業(予算枠があるが学校が自由に実施できる事業)では受験対策として希望者20人程度を、夏休み5日、冬休み3日程度、講師・支援員を招聘し補助学習を実施して学力向上を計ると共に、ダンスが必修授業となったので講師を招聘して授業を実施するなどしています。

裁量事業で何を実施するかで各学校の特色がでます。

建物に不具合箇所があるが学校建設との絡みで修繕要望を控えていたとの話があり、状況が変わったので積極的に要望を出すように伝えました。

バス通学では全員は座れない・バス時間に合わせ授業を早めるなどの影響が出ているなど課題があります。「この件については教育委員会事務局が来年度小学校用マイクロバス2台購入より当該課題解消に役立てるか検討します。」



教室見学の様子

いじめは毎年何件もあり、根絶は難しく、SNSを使った友達の悪口が多く、不登校は各学年に数名います。原因は複合的で単純ではなく、教師は毎日の電話連絡を欠かさず、できる限り家庭訪問するなど、各問題解決に努力しています。

第1常任委員長 芹澤 孝

第 2 常 任 委 員 会 報 告

2月7日に、防災課と産業建設課の所管事務調を行いました。

防災課

防災ハザードマップについて

西伊豆町防災ハザードマップは、今後発生する可能性のある風水害・地震といった様々な災害について知っておくべき知識や、避難する時の注意点を分かり易く説明しています。

地図の中に、ご自宅や日常生活で使用する場所等を記入して、その付近で想定される災害の危険性や、避難所に至るまでの経路を確認するなど、各ご家庭で災害時にどのように行動するのかを話し合い、災害について事前を知っておくことは、いざという時に役立ちます。

仁科正円地区津波避難タワー建設用地視察



仁科正円地区津波避難タワー建設用地

田子月東避難路^{てすり}手摺改修工事視察



避難路の傾斜がきつくて狭い？

産業建設課

令和5年度施工予定の工事個所視察

①黄金崎柴線舗装補修工事



②安良里津波防災ステーション工事



③町道海名野堀坂線舗装補修工事



防災課では、ハザードマップの説明と現地視察を行いました。

産業建設課では、地区要望の対応状況と道路メンテナンス事業の説明、その後、令和5年度施工予定の現地視察を行いました。

第2常任委員長 堤 和夫

南伊豆町清掃センターへ合同視察研修

令和5年1月19日、第1・第2常任委員会合同で、南伊豆町清掃センターで、令和4年9月から実施している、急速発酵乾燥資源化装置（ERS）による、ゴミ減量化実験の視察研修を行いました。

新しく1市3町で南伊豆広域ごみ処理施設を建設する予定の当町の参考になる点はどこなのか、熱心に視察研修しました。

急速発酵乾燥資源化装置（ERS）とは

* ERSとは、環境微生物の選択利用で、ゴミ高速発酵乾燥装置の中に、施設現場周辺の土壌から普遍的にいる環境微生物を選択的に培養し定着させます。この装置の中で環境微生物の「増殖」→「^{かくはん}攪拌」→「死滅」をくりかえし、環境微生物にとって最適な環境下に条件（加熱・減圧化）をコントロールすることで、ゴミを高速で発酵・乾燥します。そうすることでゴミの悪臭を取り、水分率を減らし、ゴミの大幅な減容化が可能です。

* 環境微生物とは、装置を設置する現場周辺から採取され、それらは3種類あることが特定されており、特許微生物として産業総合研究所の特許微生物寄託センター（NITE）に寄託されています。これらの3種類の菌は、共生関係にあり、共生菌として寄託された世界初の事例です。



悪臭はできません

南伊豆町の実証実験について

現在、南伊豆町清掃センターの敷地内でERSを設置し、前処理として一般廃棄物の発酵乾燥処理を行い、生ごみを40%減量します。その成果物として得られる有機物やプラスチック類を廃棄物燃料として焼却炉で燃焼し温室効果ガス排出削減効果を確認する実証実験を行っています。

* 実証実験を行っている職員の感想

- ・ ゴミの水分を取り除くことで、貯留ゴミの悪臭が抑えられます。
- ・ ゴミの水分を取り除くことで、燃焼のムラが無くなります。
- ・ 炉内の温度が安定するため、調整作業が容易になります。
- ・ 化石燃料及び電気の使用量を低減することで、CO₂排出量が削減できます。



熱心に視察する議員

第2常任委員長 堤 和夫

文化財シリーズ

西伊豆町の全域の文化財を紹介していきます。(8回目) 最終回

無形民俗文化財 はませがき 浜施餓鬼

平成20年3月24日町指定

飢えに苦しむ餓鬼に飲食物を施す施餓鬼会、新亡精霊の冥福と無縁仏への追善供養の意味が重なっています。施餓鬼檀を作って「三界万霊」の位牌を安置し、水や供え物をしています。良港のある安良里では海の幸への感謝も込め魚介類や海豚供養も含まれています。

8月15日の夕方、多目的広場の海側に数基の灯を立て、幟のついた7、8mの竹4本と杉の葉で囲まれた中に供物を載せた精霊船が納められます。

ドラと太鼓と鐘の音と共に僧侶による供養の読経が響きます。

現在まで毎年欠かさず続いている地域住民にとって大切な行事であります。

※出典元 西伊豆町文化財総覧



西伊豆町のふるさとの歴史と文化の歩みの中で生まれた文化財に対する理解を深めるとともに、これを保存愛護し、永く将来に伝えるために編集されたものを転記させていただきました。

2年に渡り全域の一部の文化財を紹介させていただきました。ありがとうございました。

議会広報編集委員長 堤 豊

町内探訪 45

元松崎地区保護司



芹澤 せりざわ 壽美子 すみこ さん
(田子在住)

約20年にわたり、保護司として活動されてきた芹澤壽美子さんにお話を伺いました。



法務大臣からの表彰状

質問 保護司は大変な仕事だと思いますが、保護観察などをやられて苦労されたことは。

芹澤さん 犯罪を起こした人を更生させることは簡単なことではありません。担当した当初はどう立ち向かっていけばいいのかわからず苦労しました。犯罪を繰り返す人もいて、挫折して辞めたいと思ったこともありました。

質問 保護司として大切なことはなんですか。

芹澤さん やはり「心」だと思います。上から目線ではなく、同じ目線で対話し、心から接する気持ちが大切です。犯罪者の家族の協力を得るなど、心のこもった対応をして更生していただくよう努力させていただきました。

質問 約20年保護司をやられてよかったことは。

芹澤さん やはり保護観察を経て無事社会復帰させることができた時ですね。対象者から感謝の言葉をもらった時は嬉しかったです。

今後、地域の犯罪や非行の予防が図れていくよう、後任の保護司会の皆様の活躍を期待しています。

【取材 松田貴宏、堤 豊】

令和5年4月14日 発行
編集 西伊豆町議会 広報編集委員会
発行 静岡県西伊豆町議会
住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL(0558)52-1962 FAX(0558)52-1906

【編集委員会より】

本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、お気軽にお聞かせください。TEL: 52-1962